

球技大会の早朝 5 時に起きて練習。ご来光を拝み必勝を期しました。



お祝い

No.260
平成 26 年 8 月 10 日発行
社会福祉法人円福会
円福寺愛育園
園長 藤本光世

総合優勝

園長 藤本光世

東北信地区児童養護施設球技大会が終わりました。

結果は、野球が 1 回戦敗退、中高女子卓球が 3 位、小学生卓球が準優勝でした。それぞれのチームが、4 月からの練習の成果を発揮して、一生懸命に戦いました。子どもたちは立派だったと思います。

野球は相手が良いピッチャーでした。フォアボールは全くと言っ

ていくらい出しませんでした。小さな子は三球三振。そのくらいスピードが速くコントロールも良かったのです。当園の子どもたちは頑張りました。外野フライを捕球したり、大会の直前に退園生が出てしまい、急遽 3 塁を守った小学校 4 年生の子が盗塁を封殺したり、内野ゴロで 3 塁から滑り込んだ選手を本塁で封殺したりと良いプレーがたくさんありました。でも、2 対 2 の同点で迎えた最終回にフォアボール等でツーアウト満塁になって、センターオーバーのホームランを打たれてしまったのです。結局このチームが優勝しました。私は、うちのようなチームに優勝してほしかった。たまたま良いピッチャーがいる時だけ勝つのではなくて、総合力で勝つ。まとまりで勝つ。心で勝つ。そうあってほしい。今でもそう思っています。

小学生卓球で奇跡が起きました。小学生卓球は 4 施設の、5 人マッチ（すべてシングル）のリーグ戦です。ある施設が断然強くて 3 勝 0 敗でした。当園は、その施設に 1-3 で負け、次の施設（選手は 4 人しかいません。）に対戦相手を外されて 2-3 で負け、最後の施設との対戦で負ければ最下位となります。この施設とは、1 番目（5 年生）が 2-1 の逆転勝ち、2 番目（4 年生）が 2-0 で勝ち、3 番目の 6 年生が勝てば入賞です。ところが最初のセットをとったのですが、逆転で負けてしまったのです。4 番目の 3 年生は 0-2 で負け、最後の当園の選手は小学校 2 年生でした。昨年 1 年生の時に初めてラケットを握った子です。相手は 6 年生。試合前のラリーを見ると、ラリーが続かない。相手の方が強そうです。負けを覚悟していました。ところがなんと試合が始まると、第一セットを



（平成 26 年 8 月 10 日発行 月刊「円福」457 号付録 昭和 52 年 5 月 25 日第三種郵便物認可）

とり、第二セットもとって、2-0 で勝ってしまったのです。なんということでしょう。試合をするうちに、この子はポイントのとり方をマスターしたのです。これで、試合は 3-2 で勝ちました。さあ大変です。3 施設が 1 勝 2 敗で並んだのです。得失マッチ数を見るとうちと先ほど試合をした施設が-2 で同率です。得失セット数の比較になりました。すると 0.04 ポイントの差で、当園が勝利、準優勝になったのです。みんな大喜びでした。

中高女子卓球の最終試合を、小学校を応援しながら観戦しました。みんな上手になっていて、試合での集中力が遠くまで伝わってきました。僅差で負けてしまい、3 位でしたが健闘をたたえたいと思います。

当園にとって球技大会は日常生活そのものです。球技大会に臨む姿勢が日常生活に生かされなければ何の意味もありません。ですので、器具の磨き、整理整頓、片付け、挨拶、日常生活の姿勢、服装、頭髪、言葉遣いなど、普段の生活に全力を注ぐのです。その上にみんなで、力を合わせて取り組む練習がある。これを 4 月からやってきました。

ですので、グラウンド等の試合会場へ入退場の挨拶、開閉会式の態度、後片付けの素早さなど、最も優れていたと思います。負けた後の野球のミーティングは、約 1 時間にわたり監督や先生方の言葉に聴き入っていました。監督も選手も悔し泣きしていました。そして、明日から来年の大会に向けて始動することを誓ったのです。

閉会式が終わって、子どもたちに話しました。試合の結果は出たけれど、挨拶、開閉会式の態度、後片付けの素早さ、すべてを総合すると当園が優勝だ。総合優勝だ。そうやって子どもたちを褒め称えました。明るく、良く話を聴いてくれる子どもたちの様子を見て、なんだか感動してしまいました。今月号は、球技大会特集号です。監督や選手の言葉から大会の様子を知っていただければありがたいと思います。

球技大会を園の生活に生かす

今年で 52 回目の球技大会が行われました。当園でも 4 月からチームを結成して取り組んできました。男の子は野球、女の子は卓球と好きな子も嫌いな子もいます。なぜこの球技大会に児童も職員も力を入れるのでしょうか。それは自分の心や身体を鍛え自信と勇気を身につけるためです。そして前向きな気持ちを植え付けます。

当然、優勝することが目標です。しかし、それ以上に愛育園で大事にしていること。礼儀正しく大きな声で挨拶をする。道具を大事にする。仲間と助け合い協力する。この 3 つを柱に球技大会の練習だけでなく普段の生活から規則正しくルールに沿った生活がベースにあって、練習を積み重ね勝利をつかむのです。必死に取り組んだ先にしか勝ったときの感動や喜び、負けたときの悔しさは湧いてきません。その経験が生活に生かされ、近い将来社会に出た時に



副園長 青谷 幸治



生きてくると思います。そして職員が率先して子どもたちと一緒に汗をかき、苦しみ悩み考えながらチームを作り上げることで結果に関わらず、職員と児童の人間関係が築かれます。

子ども達が力を出し切ることで大きな経験になります。それを職員が何とか引き出し目標達成できるように導くために力を出し切ります。楽することは簡単です。子どもに何事も選ばせるのも簡単です(好き嫌い)。どうせやるなら精一杯やろう。何でも一生懸命やってみよう。この言葉が子どもにとって全ての物事の成長につながると思います。

最後に愛育園の看板を背負って、プライドをもって取り組まることが施設がひとつになることだと思います。

球技大会を終えて 野球監督 酒井悠紀

4月より発足した当園の野球。4、5月の走り込み、6、7月のグラウンド練習。本番当日まで走り続けた日々でした。

7月29日は晴天、朝からぎらぎらの太陽がみんなを照らしていました。初戦の相手は三帰寮です。昨年の大会、決勝で対戦した両チームが初戦から火花を散らします。大会前の練習試合では、愛育園は負けています。本番はどうなるのか、とても楽しみでした。会場に到着するとすぐにアップを開始し、途中開会式を挟み、いよいよ試合です。試合開始前子ども達を集めると、そこにはガチガチに緊張した子ども達の姿がありました。普段の生活では決して見せることのない表情に、子ども達同士もびっくり、互いの顔を見合い、笑顔が戻りました。

試合開始です。愛育園は後攻です。当園の先発は中学1年のR君です。昨年の大会では小学生ながら捕手として大活躍を見せた児童です。今年は投手に抜擢され、練習を重ねてきました。大会前の練習試合では制球が定まらず、四球を連発していたR君ですが、大会では全く違った投球をみせてくれました。気持ちのこもった球を投げ、初回を0点に抑えました。その裏、相手の守備のエラー、制球の乱れから2点を挙げました。先制点を取った愛育園、試合開始の時よりも表情がほぐれて来ました。しかし点差は2点、余裕はありません。2回3回と1点ずつ返され、愛育園は点を入れることが出来ず、同点になってしまいました。

しかし、ここで気持ちが切れないのが今の愛育園野球です。みんなで投手を盛り上げ、バックも懸命に答えます。フライが苦手な練習でも苦戦していた、S君がレフト後方のフライを見事キャッチ。ランナー3塁でボテボテのショートゴロを寸分の狂いもなくバックホーム送球、見事ランナーをさしたT君。そして投手自らも三振を築きます。流れが傾き始めた5回、この試合最大の山場を迎えました。2アウトまでテンが良く取り、あと少しで、攻撃へつなげられると思った時、フォアボールとヒットを許し2死満塁のピンチです。対するは三帰寮6番。ここまではR君が完全に押さえ込んでいました。その2球目、センター後



方に飛ばされ、満塁ホームラン。その後も得点を許し、この回一挙5点を奪われました。後がなくなった愛育園、ここで裏の攻撃は9番から始まり、先頭へと繋がる好打順です。9番の小学生が三振に倒れ1アウト、続くTがフォアボールで出塁、続くバッターは2番センターj君です。ミスを取り返そうと焦っていました。その焦りがあだとなりあつという間に2アウト。そして3番ピッチャーのR君へと回ります。気持ち入り、バッターボックスで大きな声を出しています。しかし3球で三振、この瞬間ゲームセット。愛育園野球の、短い夏が終了しました。

試合後、選手を集め、最後のミーティングです。その時思い出しました、監督就任1年目の初戦敗退を。

今年のチームは良く頑張りました。心が弱い!! 所謂って普段の年より長い時間走り込みをさせました。プレーが雑!! 所謂ってノックをひたすら繰り返す日もありました。投手が試合を壊すな!! 所謂ってスタートした、早朝練習。涙とともに、この夏の思い出が蘇ります。敗戦の責任は選手にはありません。本当に良く頑張りました。今年足りなかったものを来年補い、次こそは頂点を目指したいと思います。今年の課題は来年の宿題、一から作り直しです。今年のこの悔しさを忘れず、来年こそリベンジ!! また来年、暑い夏にしよう!!

主将より (高3)

球技大会前日に不注意により捻挫をしてしまい、大会には出場できませんでした。本番では応援に徹しました。足の捻挫はとても残念でした。

僕達は球技大会前に絶対優勝すると決めました。いろいろとありましたが、チームもまとまりました。しかし結果は初戦敗退、とても悔しかったです。そして来年こそは絶対絶対優勝してください。応援しています。ありがとうございました。

投手より (中1 R)

僕は、球技大会でピッチャーをやらせて頂きました。去年はキャッチャーだったので、慣れるまでに時間が掛かりましたが、毎朝5時から早朝ピッチング練習を続け、ストライクが入りやすくなる“秘策”を見つけました。球技大会では緊張し、秘策が実践で出来なくて、初戦敗退という結果になってしまいました。それを糧とし、来年は優勝できるように頑張っていきたいと思います。

中高女子卓球監督をして

今年では中高卓球の監督となり不安から始まるスタートでした。始めたころは衝突とまではいきませんでした。去年とやり方が違うと子どもたちから言われ何もかもが不安だらけでした。一から決めました。練習メニューはどうするのか、練習時間はとキャプテン、副キャプテンを中心に決めま



保育士 土屋海都

した。中高卓球今年は6人でした。平日の練習では学校、バイトのある子がほとんどで毎日練習に出られるのは2人でした。全員が参加することが難しい中でしたのでチームがなかなかまとまらずにいました。ミーティングを開きお互いの気持ちを話しチーム全体の目標を統一したりもしました。一人ひとりの中では球技大会勝ちたい、自分自身1勝したいとそれぞれに目標があったためその後は学校、バイトが終われば少しの時間でも練習に参加し全員がそろそろことも球技大会間近になり増えていきました。監督として技術的なことは多く教えることはできませんでしたが、お互いが協力し合うこと、声をかけあい自分のことだけでなく相手のことを考えられる気持ち、道具を大切にすること、挨拶などしっかりやることを話しました。毎日練習を見ている中で子どもたちの成長している姿が見られることが嬉しく感じました。球技大会では今までに見たことないくらいに一人ひとりが声を出し応援し、自分の試合では負けそうになってもそこから集中し逆転勝ち、頑張りが過ぎて試合中涙を流している子もおり驚きとともにここまでできるのだと本当に嬉しかったです。地区大会は3位となり県大会に進むことが出来ました。ここまでするのに子どもたちと何度も話をしました。それを含め私一人力では出来ないことでした。ここでまた子どもと関わることの難しさを痛感することが多々ありました。そんな中子どもに個別で話をしてくれたり、練習を見てくれたりと多くの先生方に子どもだけでなく私自身支えられました。本当にありがとうございました。



キャプテンとして

今年の球技大会は私にとって最後の大会でした。4月監督からキャプテンを任せられ、中高女子を副キャプテンと一緒にまとめることになりました。卓球の経験も周りに比べたら少なく最高学年だというのにあまり威勢もなく、こんな私が本当にまとめることが出来るのかと不安でいっぱいでした。でも任せられたことは真剣にやろうと思い練習を始めました。5月、6月と練習する中で練習中の雰囲気が悪い日が何度も続きました。私は、アルバイトをしておりあまり練習に参加出来ない状況でこんな私がみんなに注意しても聞いてもらえないだろうと思いつつ先生方に目線で訴えかけ助けてもらいました。7月球技大会の数日前だというのに皆の気持ちがまとまらずこんな状態で大会に行くことが出来るのかという不安が爆発しました。野球の話を知るとなんで中高卓球はこんなにまとまらないのだろう、去年の今ごろはまとまっていたなとネガティブな考えばかりが頭に浮かびました。皆にもっと注意していいよと言われても練習に参加していない人が注意しても聞いてくれないだろうとか、面と向かって言われなくても心の中で思われていたらどうしようと思ひなかなか自分の気持ちを誰かに打ち明けることが出来ませんでした。でもその気持ちを監督に聞いてもらおうと心が軽くなりました。そんな感じで向えた当日、前日のミーティングでしっかり声をだして応援しようと話をしました。練

習の時はなかなかまとまることがなかったけど、試合の時はみんな一つになれたと感じました。結果として昨年より順位を落として3位でしたがなんとか県大会に進むことが出来たし、挨拶もできたし、総合的には昨年より良かったのではないかと思います。悔しい気持ちや課題点は自分自身の心の中にあるのでそれを県大会にぶつけないと思います。県大会では上位を目指して頑張ります。支えてくれた先生方ありがとうございました。



地区大会までの三ヶ月

4月から始まったと思っていた練習もあっという間に3ヶ月が経ちました。最初は玉あげが上がりず3回も続かない子、久しぶりで慣れない子がおり、不安がありました。それでも、子ども達は毎日学校から帰ってくると「先生今日も卓球あるよね?」、「今日の目標はね・・・」と卓球を楽しみに帰ってきては、すぐに用意をして体育館に集まって練習をしてきました。今年は、チーム結成時に決めた挨拶、礼儀、マナー、諦めないを目標にし、練習開始前後には必ず体育館への挨拶、何度失敗してもすぐに拗ねない諦めないをチームで何度も確認し練習に励んできました。

小学生卓球監督 山口 亮

そして来る7月29日、私は体育委員で当日は運営側で試合は見る事ができませんでした、お昼前に聞きに行くとお昼までの試合は負けてしまったようで、午後のラスト1試合で県大会に行けるかどうかが決まる場面でした。お昼前に一度試合に出る子を集めてミーティングをすると「次は絶対に勝ってくる」の一言。諦めてはいませんでした。しばらくして体育館を見に行くと子ども達が駆け寄ってきて「先生やったよ！準優勝になったよ！」と報告にきてくれました。最後の1試合は、卓球の経験が浅く今年から本格的に始めた2年生の女の子が試合に勝ち県大会への道が切り開けたそうです。最後の1戦まで諦めない心があったからこそその勝利だったと思います。



子ども達が目指してきた県大会という道、次は県大会優勝を目標に残りの1週間更に技術を磨きたいと思います。

東北信球技大会 小学生女子卓球準優勝おめでとう！

4月の発足式から約3ヶ月間小学生女子は今大会に向けて卓球練習に励んできました。私は今回初めて監督として子供達と一緒に熱い汗を流してきました。最初は球上げもままならなかった子も練習を重ねている内にコンコンと良い音を響かせられるようになったり、特に高学年の子供達の上達ぶりは目覚ましく、いつしか職員でも歯が立たないレベルになっていました。

保育士 上原美恵子

さて大会当日、緊張した面持ちで試合に挑みました。中には“手が



震えている”なんて言う子もいて、私は子供達に“ここにいるのは皆同じ小学生だよ、みんな緊張しているよ、皆一緒だよ”と声掛けしました。さていよいよ一回戦、相手は毎年優勝している強豪です。試合が始まるとさすがに相手は勝つためのプレーに徹していて、あっという間に負けてしまいました。子供達には“よく頑張ったね、たまたま相手が強かっただけだよ、次は頑張ろうね”等と話しました。2回戦目の相手も試合慣れしていて、こちらが戸惑うような球ばかりを返してきたり、こちらは緊張から動きがにぶかったり普段では考えられないようなミスがあったりで結局負けてしまいました。そしていよいよ最終戦です。そこで策を練りトップを負けず嫌いなAさんにし試合に挑みました。Aさんは期待通りの頑張りで逆転勝ちをしました。二番手のHさんはチーム一番の実力者、Aさんが勝っていることもあり余裕を持って勝つことが出来ました。三番、四番手は接戦でしたが惜しいところで負けてしまいました。いよいよ最終は2年生のSさんです、相手が6年生と言うことで見守るこちらもドキドキでしたが、粘り強く球を返し、中には思いがけない好プレーもあり見事に勝つことが出来ました。得失点も計算され、結果当園は準優勝と言う思いがけない結果を出すことが出来き、子供達はとび跳ねて喜んでいました。応援して下さいました大勢の皆さま方本当にありがとうございました。そしていよいよ一週間後は県大会です。この大会で学んだことを生かして良い結果が出せたらと思います。



小6 女児 キャプテンの感想

私は、卓球をやってよかったことがたくさんあります。私はキャプテンとして、練習が始まる前にはみんなを集めて大きな声で挨拶をする事ができたし、今年から入った1年生にも優しく教えられる事ができました。自分は、相手のコートにボールが入らなくて悔しい時もありましたが拗ねたりしませんでした。



これから県大会に行く事ができるので、大会ではできなかったバックを県大会までの期間まで練習をして完璧に入るようにしていきたいと思います。

1 学期課外活動終了！

課外活動係 山口 亮

1 年生が新しく4月に入ってスタートした課外活動も1 学期の活動が終了しました。1 学期から

1 年生が新しく入ったという事もあり、最初は課外活動に慣れてもらう意味合いもあり、公園遊びが中心となりました。そんな1 年生も活発的に遊ぶ高学年の姿を見て走り回ったり、汗でびしょりになったり、時には泥にまみれたりと・・・1 学期が終わる頃にはだいぶ体力もついてきました。

また活動後は必ず絵日記か、作文を書いてファイリングし、学期ごとのまとめが見られるようにしてあります。先日、1 学期課外活動のまとめの会があり、みんなで見てると1 学期だけでもたくさんの枚数があり子ども達もその場所でやった遊びなどを思い出しては2 学期は「ここにいきたい!」、「工作もたまにはしてみたい!」と今から楽しみにしている様子でした。2 学期はまた新しい活動も取り入れながら、夏休み明けに取り組んでいきたいと思います。

そんな子ども達の記事から代表で今回ご紹介します。

課外活動日記 南長野運動公園 M・N

きょう、南長野運動公園に行きました。おにごっこをしました。

はじめは、おにじゃなくてあとからつかまりそうになりました。それで思いっきりはしってつかまりませんでした。さいしゅうてきにはつかまってしまいました。次はがんばりたいです。



稲養生活性化委員 一学期の活動を振り返って

保育士 富沢正樹

稲荷山養護学校に通う生徒を対象に、今年度から学校が休みになる土曜日に課外活動をスタートしました。一学期は、以下のような内容で活動を行ってきました。

- ・稲養生課外活動スタート「始業式」
- ・連帯感を育む「ミサンガ作り」
- ・球技大会優勝を目指して「特別ノック練習」
- ・来週は釣り体験、今週は「マイ釣り竿作り」
- ・大物ゲットを目指せ「釣り体験」
- ・一学期の総まとめ「終業式」

活動当初は、土曜日や日曜日に暇を持て余しがちな稲養生が少しでも活動的になってくれればと思って始めた課外活動でしたが、ミサンガ作りを試みればものすごいスピードで紐を編んでいく子、釣りをしてみれば短時間でヒョイヒョイと魚を釣り上げる子。と、今まで知らなかった児童達の一面をたくさん見ることが出来ました。普段の生活を通して児童の性格や能力はおおよそわかった気でいましたが、まだまだたくさんの可能性を秘めているんだ。と思い改めました。

二学期にもサイクリングや、子どもから「もう一回やりたい」という声が出た釣りを取り入れ、児童の可能性をたくさん引き出せるような活動にしていきたいです。

以下は、稲養生の毎回の活動後に書いている活動記録です。

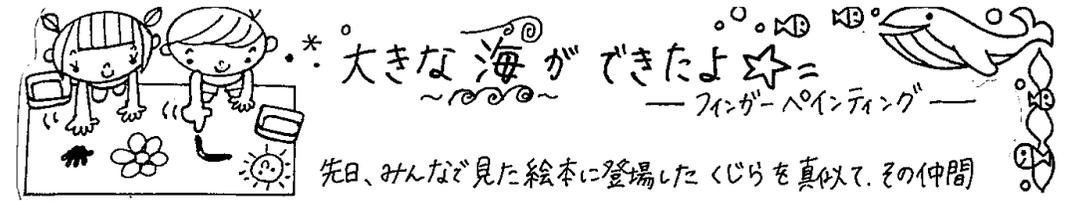




1学期が終了しました

4月に平成26年度の園内保育が始まってから4ヶ月。園内保育は7/25に1学期終了となりました。遠足、お誕生会、小学校の運動会、いちご狩り...楽しい行事がたくさんありました。今年度は週に1~2回は火田に足を運び作物の様子を見たり、草取りをしたり、お世話も頑張りました。先日のジャガイモ掘りは大豊作!! 可愛い幼児さんたちが火田に来てたくさんお世話をしてくれて、野菜たちも嬉しかったよ。

1学期終業式には園長先生においでいただき、おまいりをしていただきました。静かに参加する姿に、子どもたちの成長を感じました。その後、園長先生から1学期を振り返るお話をいただきました。1学期に、たのしいことを園長先生のお話から思い出し、振り返る子どもたちを、それから、保育者から一人ずつ、1学期に頑張ったことが書かれた、スイカのカードをもらいました。



先日、みんなが見た絵本に登場したくじらを真似て、その仲間を折り紙で作りました。そして、沢山集まったくじらたちが泳げる所が「ほいね!!」と海を作ることになりました。保育者が白い大きな紙を用意すると、「あおくぬればいいよ!!」「えのぐどやる!!」など今までの経験をいかして、自分なりに考えたアイデアを発表する姿もありました。普段の制作活動は室内で行うことが多いのですが、今回は「絵の具で海を作る」ということで思いきりできるよう、子どもたちは水着に着替え、屋外で行いました。早速、手に絵の具をつけると、パタパタ...ヌル...「きもちいい」と絵の具の感触を楽しみながら、どんどんどんどん素敵な海が出来ていきました。

気付けば、手だけでなく腕や足にも絵の具をつけ、満足気な子どもたち。きつくじらさんも喜ぶね。最後は、シャワーを浴びて、プールに入り、くじらのように元気に遊びましたよ。



職員劇「たなばたさま」を鑑賞しました

終業式の後は、職員による「たなばたさま」の劇を鑑賞しました。子どもたちに喜んでもらいたい一心で、この日のために、練習や準備に張り切る職員たち。劇では、みんな熱演でした。

七夕伝説にちなみ、織姫と彦星が引き裂かれる場面では、ハラハラしたり、最後に2人が再会すると、嬉しい様子。子どもたちは食い入るように見ていました。「天の神様、お仕事をちゃんとしなさい」と言いたね。などの、七夕伝説を理解し、子の言葉も聞かれました。



織姫様と彦星様、来年の7月7日にも逢えるといいですね。



たなばた焼きをしました



職員劇の鑑賞後、ミニゲーム「たなばた焼き」をしました。たなばた焼き用の土瓶、た穴に飾りをつけた板をどうにも入れるのが嫌だという声。せ、かくきゅうい、作、飾りを火燒くのが嫌だ、た、どうすか。

園長先生から、「たなばた焼きでみんなの願い事をお空に届ける」と、ご説明いただき、納得して手放すことが出来ました。

みんなの願い事がロケットで届くね。もう、お空に届いたかな。



あおがきプール

★ 7月18日(金)は園内保育の子ども達と青垣プールへ行ってきました。朝から雨が降っており、これは中止かな...と思っていたら、子ども達の思いが伝わったのか、ほとんど雨が止み、プールに出発!! プールに到着するなりみんなもワクワクドキドキ、いつもより大きいプールがたくさんあり、どれから遊ぼうか悩んでいる姿もありました。ここで身長さん、小学校に向け、泳げるように練習スタート。体を真、直ぐにして深く練習をしたり、水の中に潜る練習をしました。最初は潜ることに怖かったMちゃんですが、先生とたさん一緒に潜っているうちに「先生〜見て〜」と自ら潜ることにできるようになりました。こんな短い時間で成長したMちゃんを見るのができ、とても嬉しくなりました。またたくさん潜ることができるようになったMちゃんも、とても自信になりました。園に帰ってきてから、たさんの先生に報告していました。この夏プール活動を通じて子ども達にたくさん成長してほしいな。



6月21日 ミサंगा作り 中3 S

今日は、ミサंगा作りをやりました。最初は出来ないと思っていたけど、竹内先生が教えてくれました。途中で富沢先生からも「いいね」と言われて嬉しくなりました。

ミサंगा作りで難しかったのが紐を下に通すところでした。でも、やっていくうちにどんどん早くなって、一本完成した時はとても嬉しかったです。

6月28日 特別ノック 高2 K

今日は、特別ノックをしました。いつもの練習とは違って、続けて何本も取るっていうのが難しかったです。フライやゴロがとれるようになりたいです。

大会まで後わずかなので必死で本気で頑張っていきたいです。疲れるけど大会にむけてしっかり頑張っていきたいです。

7月5日 釣り竿作り 高3

今日は、釣り竿作りをしました。富沢先生のお寺まで竹を取りに行き、その後、園に戻って釣り竿を作りました。難しいと思いましたが、意外にラクでいい釣り竿ができました。今日の土曜日には魚がたくさん釣れる気がします。魚を釣るのが楽しみで楽しみでしかたありません。だれよりもたくさん魚を釣って楽しみたいです。

7月12日 釣り 高2

今日は釣りに行きました。池にブラックバスやブルーギルやコイがいました。僕はブルーギルを2匹釣る事ができました。最初はミミズを触るのが苦手でした。後から小さなミミズをこわがらずにさわれました。

僕が一番にブルーギルを釣りました。釣った時は最高に喜びました。2匹目を釣った時もうれしかったです。釣りって楽しいんだなって思いました。また、釣りに行きたいです。

学習1学期

脇坂和子

今年度の学習は小学1年生5名が新しく加わり、昨年度の6年生が中学1年生に進級してスタートしました。

新小学1年生たちは、年長さんのときから勉強する際に大切なこと等を園内での「おべんきょうの時間」に習っていたこともあり、今のところ小学校や園での学習に特に躓いてはいないようです。しかし、早くも学習内容に対する好き嫌いや得手不得手が表出し始めており、園の他のすべての子どもたちに関してと同じく、学校と園とが緊密に連携して彼らの学習活動を支援していくことが今後ますます重要になるでしょう。

進級に伴ってクラス担任が交代し、宿題の量や出方が変わった小学生も何人かいます。彼らにとっては、1学期中に新環境に適応することが肝要でしたが、球技大会の練習もある中、就寝時刻を過ぎた後も宿題をしなければならぬこともよくありました。疲れてはいるし眠くはなるので、時に涙をこぼしながら宿題に取り組む彼らの姿には、正直同情を禁じえませんでした。翌日はまた

元気に登校し、帰園すると極当たり前に宿題に取り組む姿には、確かな成長を感じました。

その他、漢字検定に挑戦する子、忘れていた宿題やごまかしていた宿題に泣きながら取り組む子、やはり勉強は嫌いだと言葉や行動で表現する子、などなど。一人一人の成長のペースは違いますから、焦らず根気よく、子どもたちに学ぶことの面白さと大切さを実感してもらえるように、これからも接していく他はないと思います。

今年度は高校受験生も2名います。嫌なこと、目を背けたい厳しい現実から逃げず、自分自身に向き合うことができるかどうかの成否を左右しますが、これまでのところ2人の勝敗予想はつきません。暑く長い夏休みは受験生の正念場。奮起を期待します。

応急手当普及員となって

あおぞらホーム 石黒玄章

この度、24時間の講習を得て応急手当普及員になりました。これを機に園内職員や子供たちに心肺蘇生法等の実技指導を中心とした応急手当普及講習が実施できます。

現在日本で救急搬送された心肺停止症例は約1000人に1人の割合で起こっています。その際に救急車が到着するまでの間にどれだけ素早く心肺蘇生が行われるかによって、その人の命が左右されます。約1000人に1人という割合に正直衝撃を覚えました。それだけ身近に起こり得る心肺停止の症例に、今回学んだ応急手当をどれだけ解りやすく伝えるかが私の使命です。

早速、園内職員を対象として講習を行いました。現在の心肺蘇生法は心臓マッサージが第一との指導の下、職員の皆さんには、人形とAEDを用いた訓練を行っていただきました。職員の皆さんは、「いざ」と言う時の為に大きな声や身振り手振りで、必死に訓練を行いました。

短い時間の中での訓練でしたので、まだまだ伝えきれなかったことも有ります。今後も定期的に講習を行っていければと思います。

調理室だより

調理員 小林莉菜

7月7日は1年に一度の七夕の日でした。調理では毎年行っている七夕特別メニューを実施しました。赤色と緑色の麺が入った3色のそうめんの上にエビや星の形にくり抜いた人参や切った面が星形に見えるオクラなどの具材が乗った七夕そうめん、サツマイモや茄子など5種類の天ぷら、栄養士の先生がこの日のために作ってくれた七夕スペシャルデザートというとっても豪華なメニューです。デザートにも星形の黄桃が乗っていて七夕にぴったりの可愛いデザートでした。



七夕というと願い事を書いて笹の葉に飾ったりするものですが、今回のメニューは食事を通して子ども達に七夕を感じてもらえたらと思います。「おいしかった」と喜んでもらったので、とても良かったです。